

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	児童生徒の健全育成と教育相談の充実				予算施策コード	ky04	
担当部局名	教育委員会	指導部	義務教育課	評価責任者	課長 小池 達士	連絡先	4802

1 施策の内容

施策の目標	学校、家庭、地域、関係機関の連携による児童生徒の健全育成のためのネットワークづくりを推進するとともに、教育相談体制の整備・充実により、いじめ・不登校や非行等の問題行動等の未然防止や解決に努め、児童生徒の楽しい学校生活を支援する。
これまでの取り組み	<p>児童生徒を支援するためスクールカウンセラー、ハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー等を配置するとともに、教職員や教育相談員の研修を実施してきた。また、児童生徒のいじめや不登校の解消を支援するため、学校、家庭、地域、適応指導教室等の関係諸機関が連携した地域ぐるみのサポートネットワークの整備を進めるとともに、児童生徒の安全確保や非行等の問題行動に対応するため、児童生徒をまもり育てる連絡会を設置して具体策を検討してきた。</p> <p>25年度は、スクールカウンセラーの配置方法を改善し、全ての小中学校で対応可能とした。また、ハートなんでも相談員やスクールソーシャルワーカー等も活用することにより、相談体制の充実を図った。</p> <p>26年度は、スクールカウンセラーの勤務時間を変更した。</p> <p>27年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率67.7%(6.1%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。</p> <p>28年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率74.6%(6.9%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。</p> <p>29年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率78.3%(3.7%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。</p> <p>30年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率81.8%(3.5%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。</p> <p>元年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率85.2%(3.4%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。</p> <p>2年度は、スクールカウンセラーを増員(配置率88.9%(3.7%増))し、相談体制のより一層の充実を図った。</p> <p>3年度は、スクールカウンセラーの配置率(89.2%(0.3%増))を増し、相談体制のより一層の充実を図った。</p>

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	小・中・高校・特別支援学校における認知したいじめの解消状況	B	小・中学校(県立中等教育学校を含む)における1,000人当たりの不登校児童生徒数
選択理由	児童生徒が楽しい学校生活が送れることを目的としていることから、認知したいじめの解消率(文部科学省実施「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」中)の推移をもって指標とする。	選択理由	児童生徒が楽しい学校生活が送れることを目的としていることから、1,000人当たりの不登校で欠席した児童生徒数(文部科学省実施「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」中)の推移をもって指標とする。
算定方法	認知したいじめの解消率の推移	算定方法	1,000人当たりの年間30日以上欠席の不登校児童生徒数の推移
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー
	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係
	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー
	指標の種類(プラス/マイナス)	-	

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%			人			千円					
元年度	100	81	81.0%	12	14	85.7%	125,675	39,314		86,361		77,594
2年度	100	81	81.0%	12	15	80.0%	142,255	40,714	4,000	97,541	116,514	79,845
3年度	100	72	72.0%	12	18	66.7%	180,593	80,152	4,000	96,441	158,804	73,810
4年度 目標値	100			12			4年度当初予算					
最終目標	100			12								

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	児童生徒の様々な悩みに対応するために、教育相談体制を整備することや、学校、家庭、地域、関係諸機関が連携し、社会が一体となって青少年の非行防止やいじめ問題の解決、不登校児童生徒の解消に取り組むことは、県教育委員会の大きな役割である。				
高い							
成果指標A		説明	愛媛県では、いじめの認知を積極的に行うとともに、いじめ事案を安易に解消と判断することがないよう丁寧に対処しているため、解消率は低下している。しかし、相談体制の充実を図ることにより、重大事態の発生には至っていない。今後も、いじめの早期発見、早期対応に努め、児童生徒が不安なく学校生活を送ることができるよう努めていく必要がある。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの相談体制の整備、拡充を図るとともに、地域ぐるみでのネットワークづくりを進めていくことが大切である。				
成果動向	横這い		なお、いじめを受けた児童生徒がどの程度相談できたかという指標も重要であるが、R3年度分からは、各学校において認知したいじめの解消状況を指標として設定することにより、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる相談体制の確立を目指す。				
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	平成30年度から愛媛県長期計画第3期アクションプログラムに合わせて成果指標を見直したが、全国と同様に不登校児童生徒は増加傾向にあり、目標は達成できていない。				
成果動向	横這い		スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカーなどの教育相談体制を整備するとともに、学校、家庭、地域、関係諸機関の連携を密にしながらか不登校児童生徒への対応を強化することが、今後、重要である。				
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.23	順調・向上	成果向上余地	1.38	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	<p>情報化、少子化などが進展する中、児童生徒を取り巻く環境は変化し、様々な問題が生じている。また、その要因も児童生徒の規範意識や倫理観の低下のほか、児童虐待など家庭環境によるものなど多様化している。</p> <p>そのため、学校、家庭、地域、関係諸機関の連携による児童生徒の健全育成のためのネットワークの構築や教育相談体制の充実に取り組むことにより、問題行動等の未然防止や早期対応を図ることが重要である。</p>
-------------	---

3 施策の今後の方向性

<p>現代の変化の激しい社会の中、児童生徒を取り巻く環境も大きく変化しており、学校だけでは解決できない様々な問題が生じている。また、その要因も児童生徒の規範意識や倫理観の低下のほか、児童虐待など家庭環境によるものなど多様化している。</p> <p>そのため、学校、家庭、地域、関係諸機関の連携による児童生徒の健全育成のためのネットワークの構築や教育相談体制の充実に取り組むことが重要であり、そのための予算の確保が重要である。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

ky04

児童生徒の健全育成と教育相談の充実

1 フリースクール連携推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画		90	90	90	事業費計	0	4,431	4,431	0	評価 昨年年度から補助している6施設を含む、7つの施設が補助対象施設となった。フリースクールの安定的な運営が、児童生徒の学びの場の確保につながっていると考える。	方向1 統合 方向2 方向3	見直し方向性 令和4年度から「不登校児童生徒等支援事業費」に統合した上で、本事業は継続して実施する。	
成果 +	補助対象施設の満足度	%	実績	67	77		国費									
			達成率	74.44%	85.56%		その他		4,000	4,000						
指標種類2	指標名称2	単位	計画		2	4	4	県費		431	431					
活動 +	補助対象施設数	箇所	実績		6	7		事業費計	0	4,065	4,056					
			達成率		300.00%	175.00%		国費								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他		3,997	3,964					
			実績					県費		68	92					
			達成率					人役		0.4	0.4					
			達成率					人件費		2,707	2,420					
実施期間	始期 R2	終期	事業の概要					不登校児童生徒への多様で適切な教育機会を確保するため、フリースクールにおける教育の質的向上と安定運営に向けた支援を行う。								
2 不登校児童生徒等支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画		1,390	1,509	1,790	事業費計	0	5,080	8,065	15,079	評価 経済的支援の支給対象者及び対象経費には一定の要件があるため、支援金の申請自体が少なかったものの、相談や学習機会の提供を行うフリースクール等に不登校児童生徒の保護者の経済的な負担軽減が図られた。	方向1 統合 方向2 方向3	見直し方向性 不登校長期化の未然防止に重点を置いた「校内サポートルーム」の設置、フリースクールとの連携強化、ICT機器の活用による家庭学習の充実などにより、不登校児童生徒の多様な教育機会の確保に努める。令和4年度から「フリースクール連携推進事業費」を統合する。	
成果 -	不登校児童生徒数	人	実績		1,509	1,790		国費		1,693	4,556	8,866				
			達成率		92.11%	84.30%		その他				4,000				
指標種類2	指標名称2	単位	計画		30	15	15	県費		3,387	3,509	2,213				
活動 +	経済的支援を行った不登校児童生徒数	人	実績		10	9		事業費計	0	259	5,482					
			達成率		33.33%	60.00%		国費		194	3,996					
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他								
			実績					県費		65	1,486					
			達成率					人役		0.4	0.4					
			達成率					人件費		2,707	2,420					
実施期間	始期 R2	終期 R4	事業の概要					不登校児童生徒への多様で適切な教育機会を確保するため、民間団体等関係機関との連携体制を整備するとともに、不登校児童生徒に対する経済的支援を行う。								
3 スクールカウンセラー活用事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画		4.0	4.0	4.0	事業費計	68,459	72,007	71,988	73,343	評価 近年不登校等の生徒指導上の課題は複雑化、多様化しており、様々な要因が複雑に絡み合っていることが多いことから、成果が現れるまでには時間を要する。研修会等を通じて、好転した相談事例を紹介するなど、相談活動の向上に向けて引き続き努める。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	見直し方向性	
成果 +	拠点校1校の1日当たりの相談件数	件	実績		3.9	3.8	3.9	国費	22,819	24,002	23,996	24,447				
			達成率		97.50%	95.00%	97.50%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画		96	100	102	104	県費	45,640	48,005	47,992				48,896
活動 +	スクールカウンセラー等を配置した拠点校数	校	実績		96	100	102		事業費計	65,880	70,343	70,854				
			達成率		100.00%	100.00%	100.00%	国費	21,960	23,447	23,617					
指標種類3	指標名称3	単位	計画		54	58	60	62	その他							
			実績		55	58	61		県費	43,920	46,896	47,237				
			達成率		101.85%	100.00%	101.67%		人役	0.4	0.4	0.4				
			達成率					人件費	2,723	2,707	2,420					
実施期間	始期 H13	終期	事業の概要					問題行動等の未然防止や早期発見のために、「心の専門家」であるスクールカウンセラー（臨床心理士等）を希望する中学校に配置するとともに、県内全ての小・中学校に派遣できる体制を整え、教育相談の充実を図る。								

4 ハートなんでも相談員設置事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	1,178	1,390	1,509	1,790	事業費計	8,335	8,336	8,336	8,432	評価	いじめ・暴力行為・非行・不登校等の早期発見や未然防止のため、相談員を配置し、児童生徒や保護者に対する相談活動を充実させ、気持ちにゆとりがもてる環境を提供し、学校の相談体制の整備ができた。		
成果	-	不登校児童生徒数	人	実績	1,390	1,509	1,790	国費								
				達成率	84.75%	92.11%	84.30%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	106	106	106	106	事業費計	8,335	8,336	8,336	8,432				
活動	+	相談員を配置した学校数 (兼務校を含む)	校	実績	106	106	106	国費								
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画	18,000	18,000	18,000	18,000	事業費計	8,245	8,180	8,149					
活動	+	相談件数	件	実績	21,139	21,670	22,959	国費								
				達成率	117.44%	120.39%	127.55%	その他								
				達成率	117.44%	120.39%	127.55%	県費	8,245	8,180	8,149					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.4	0.4	0.4	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
	H16		児童生徒や保護者が気軽に相談できる体制の充実を図るため、学校現場に相談員を配置する。					人件費	2,723	2,707	2,420					

5 スクールソーシャルワーカー活用事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	45.0	45.0	45.0	45.0	事業費計	6,745	11,735	10,231	10,231	評価	スクールソーシャルワーカーが継続的に関わる件数が増え、好転した割合についても、ある一定数を保っている。研修会等を通じて、好転した事例を紹介するなど、課題解決に向けて引き続き努める。		
成果	+	支援により問題が解決、あるいは好転した割合	%	実績	33.3	33.1	37.7	国費	2,247	3,911	3,410	3,410				
				達成率	74.00%	73.56%	83.78%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1,170	1,170	1,170	1,170	事業費計	4,498	7,824	6,821	6,821				
活動	+	スクールソーシャルワーカーの支援対象となった児童生徒数	人	実績	641	824	901	国費								
				達成率	54.79%	70.43%	77.01%	その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画	390	390	390	390	事業費計	6,518	8,200	8,428					
活動	+	スクールソーシャルワーカーが継続的に支援した児童生徒数	人	実績	459	617	851	国費	2,172	2,733	2,809					
				達成率	117.69%	158.21%	218.21%	その他								
				達成率	117.69%	158.21%	218.21%	県費	4,346	5,467	5,619					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.5	0.5	0.5	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
	H20		社会福祉等の知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、いじめ、不登校、暴力行為等の課題解決への対応を図る。					人件費	3,403	3,383	3,025					

6 スクールライフアドバイザー活用事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画		60	60	60	事業費計	7,427	7,513	7,513	7,513	評価			
成果	+	アドバイザー配置校におけるいじめ認知件数	件	実績		46	57	国費								
				達成率	-	76.67%	95.00%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	140	140	140	140	事業費計	7,427	7,513	7,513	7,513				
活動	+	1校平均の相談回数	回	実績	135	135	103	国費								
				達成率	96.43%	96.43%	73.57%	その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画	80	80	80	80	事業費計	7,006	7,085	7,269					
活動	+	相談活動以外の活動時間 (一人当たり)	時間	実績	80	80	83	国費								
				達成率	100.00%	100.00%	103.75%	その他								
				達成率	100.00%	100.00%	103.75%	県費	7,006	7,085	7,269					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.1	0.1	0.1	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
	H12		第三者的な相談員を生徒の身近に配置することで、高校生が抱えている悩みや不安等を気軽に話すことのできる体制を構築し、生徒のストレスを和らげ、ゆとりのある充実した学校生活を送ることができ環境を教員と連携しながら整備する。					人件費	681	677	605					

7 学校問題解決支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	2,191	2,207	2,207	2,207	評価			
成果	+	学校トラブルサポートチームを派遣した問題行動等の解決率	%	実績	100	100	100	国費								
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	2,191	2,207	2,207	2,207				
成果	+	心のレスキュー隊による相談活動を通して改善が見られた延べ人数の割合	%	実績	100	100	100	国費								
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	1,508	415	980					
				実績				国費								
				達成率	-	-	-	その他								
				達成率	-	-	-	県費	1,508	415	980					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.1	0.1	0.1	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
	H30		スクールロイヤー・スクールガーディアンズ(学校トラブルサポートチーム及び心のレスキュー隊)の指導・助言により、生徒指導上の諸問題の早期解決と再発防止に努め、学校を落ち着いた状態に戻すなど、生徒が安心して生活を送ることができるようにする。					人件費	681	677	605					

8 いじめ防止対策体制整備事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	4その他	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	0	0	0	0	事業費計	2,088	1,627	1,142	1,197	評価	今年度、重大事態が発生せず、本部会議の回数が1回であり、各学校におけるいじめ問題の対応が適切に行われた成果であると考える。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年2回のいじめ防止対策連絡協議会のうち1回目は書面開催、2回目はオンラインで開催となった。			
成果	0	70-	実績	0	0	0	国費	696									
			達成率	-	-	-	その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1	1	1	1	事業費計	1,392	1,627	1,142	1,197					
活動	+	70-	実績	3	1	1	1	国費	207	10	321	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3
			達成率	300.00%	100.00%	100.00%	その他	69									
指標種類3	指標名称3	単位	計画	2	2	2	2	事業費計	138	10	321						
活動	+	70-	実績	2	1	1	1	国費									
			達成率	100.00%	50.00%	50.00%	その他										
			達成率	100.00%	50.00%	50.00%	人役	0.4	0.4	0.4							
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費	2,723	2,707	2,420						
	H26	予定・見込があれば記入	いじめ防止対策推進法及び愛媛県いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止対策の推進やいじめの重大事態等に対応するため、幅広い外部専門家を活用し、解決に向けて諮問・審議・調査・支援等を行う体制を整備する。														

9 いじめ等相談体制構築事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	4その他	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	300	300	300	300	事業費計	7,608	10,059	17,014	12,944	評価	様々な不安や悩みを抱える児童生徒や保護者から数多くの相談が寄せられている。たとえ1件でもいじめ問題等の相談に迅速・適切な対応を行うものであり、成果については、数値のみではかれるものではないと考えている。SNS相談については、進路決定や受験への不安等が高まる11月～1月に、期間を限定して毎日の実施に強化した。			
成果	+	70-	実績	399	390	566	566	国費	2,536	1,576	8,356	4,314					
			達成率	133.00%	130.00%	188.67%	188.67%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画			630	630	事業費計	5,072	8,483	8,658	8,630					
活動	+	70-	実績			641	641	国費	7,266	4,729	16,577	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3
			達成率	-	-	101.75%	101.75%	その他	2,418	1,576	8,017						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	1	1	1	1	事業費計	4,848	3,153	8,560						
活動	+	70-	実績	1	1	1	1	国費									
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	その他	0.7	0.7	1.0						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	人役	0.7	0.7	1.0						
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費	4,765	4,737	6,050						
	H19	予定・見込があれば記入	いじめ問題等への対応に万全を期すため、24時間体制で子どもや保護者からの電話相談に応ずるとともに、SNSを活用した相談活動も実施し、様々な問題の深刻化の未然防止や早期対応に向けた支援を行う。														

10 いじめSTOP愛護の子どもサポート事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	7,844	7,888	7,997	7,996	評価	県内全ての小中学校をオンラインで接続し、いじめ問題という同一のテーマについて同時に考える県内一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP! デイ」を開催し、小中学生約24,000人が参加した。事後アンケートでは、97%の児童生徒が参考になった。20.6%の学校がトラブルが以前より減ったと回答するなど一定の成果が得られた。			
成果	+	70-	実績	100	実施せず	100	100	国費	7,844	7,888	7,997	7,996					
			達成率	100.00%	-	100.00%	100.00%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	20	20	20	20	事業費計	6,273	3,250	7,692	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3
活動	+	70-	実績	20	実施せず	20	20	国費									
			達成率	100.00%	-	100.00%	100.00%	その他	6,273	3,250	7,692						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	20	20	20	20	事業費計	6,273	3,250	7,692						
活動	+	70-	実績	20	2	8	8	国費									
			達成率	100.00%	10.00%	40.00%	40.00%	その他	0.5	0.5	0.6						
			達成率	100.00%	10.00%	40.00%	40.00%	人役	0.5	0.5	0.6						
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費	3,403	3,383	3,630						
	H30	予定・見込があれば記入	児童生徒が参加するライブ授業を実施し、えひめの子どもたちによるいじめ防止に向けた学校づくりを、社会総ぐるみで推進するとともに、県全体への普及、啓発及びサポート体制の構築を図ることを目的とする。														

11 高等学校生徒指導充実強化費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類1	指標名称1	単位	計画		100	80	60	事業費計	828	833	833	833	評価	3成果横ばい			
成果	+	70-	実績		64	73	73	国費									
			達成率	-	64.00%	91.25%	91.25%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	2	2	2	事業費計	828	833	833	833					
活動	+	70-	実績	2	2	2	2	国費	618	238	290	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	その他	618	238	290						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	65	65	65	65	事業費計	618	238	290						
活動	+	70-	実績	65	65	65	65	国費									
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	その他	0.1	0.1	0.1						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	人役	0.1	0.1	0.1						
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費	681	677	605						
	S45	予定・見込があれば記入	各学校の生徒指導体制を確立させるため、連絡協議会等を開催して研修・情報交換を行う。また、生徒の規範意識を高めるため、全ての県立高校・中等教育学校において、少年非行の専門知識を有する講師を招き、非行防止教室を実施する。														

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

ky04

児童生徒の健全育成と教育相談の充実

1 不登校児童生徒支援拡充事業費	コスト (単位：千円)					コスト (単位：千円)			
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		R元年度	R2年度	R3年度	
評価対象外の理由	事業費計	0	0	39834	0	事業費計	0	0	28,139
単年度事業	国費			39,834		国費			28,139
	その他					その他			
評価対象外その他の理由(記述)	県費					県費			
						人役			0.3
						人件費			1,815

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名 ky04 児童生徒の健全育成と教育相談の充実

1 魅力ある学校づくり調査研究事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	
国費			1,265
その他			
県費			